

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	4-2-1			事業名	世界冬の都市市長会関連事業		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (実 績)	22年度末 (目 標)	
市長会議参加都市数	29都市 (17年度)	22都市	-	18都市	-	30都市	
(市長会議は隔年で開催)							
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 本会活動の一環として、札幌市民を含めた会員都市の市民に環境問題への理解を深めてもらうため、共通節電キャンペーンの実施(平成20年度)及び地球環境を守るための共通ポスターの掲示(平成21年度)を行った。また、札幌市民にわかりやすい小委員会の活動報告書を作成した。このような活動を通じ、市民が世界冬の都市市長会の事業に関わり、関心を持つ機会の創出に努めている。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり ホームページや広報誌等を通じて、本会の活動を市民に知ってもらうための取組みを進めた。</p>							
評 価 (成 果)			課 題				
<ul style="list-style-type: none"> ・四半世紀にわたり、札幌市が先頭に立って冬の都市の連携をリードしてきた実績は、札幌市が世界の冬の都市の中心的な役割を担うという姿勢を世界に示す大きなアピール効果となっている。 ・会員都市の優れた事例を互いに学びあい、刺激し合うことは、まちづくりの先頭に立つ市長にとって優れた学習の場であり、まちづくりのヒントを得る機会となっている。 ・近年、特に力を入れて取り組んでいる地球温暖化問題は自治体や市民の意識の向上が何より重要であり、冬の都市の切り口から都市連携を進め国際貢献を図ることは、本市の国際都市としての地位を高めるとともに、環境問題への積極的姿勢のPRにつながり、市民意識を高める一助にもなっている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・本会の活動内容や会員都市のことを広く市民に周知することに加えて、本会の活動が市民生活の向上に寄与しているものという実感を持ってもらえるような活動内容を検討していく必要がある。 ・規模や地域の異なる会員都市すべての満足度を高めることは容易ではないが、本会が会員都市及び札幌市民にとってよりメリットがあり、対外的にも魅力のある組織となるよう多角的に検討する必要がある。 ・本会活動について国際社会から関心を引き出す工夫が必要であり、情報発信について研究が必要である。また、海外(特に大都市)及び国内の会員都市を増やすための効果的な勧誘活動も必要とされる。 				
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向							
<ul style="list-style-type: none"> ・他のイベントや行事とのタイアップなどにより、本会の活動を市民に直接PRする機会や市民参加の機会を設けることに努める。こうした機会をメディアを活用するなど効果的にPRし、札幌市民に対して地球温暖化問題などに取り組む本会の知名度を更に高められるような工夫をしていく。 ・会員都市のニーズを把握し満足度を高めるほか、対外的にも魅力のある組織にするため、他の国際ネットワークの実態調査や外部有識者等の意見の聴き取り、海外(特に大都市)及び国内の会員都市を増やすための効果的な勧誘活動など、本会の充実・発展に向けた検討を行う。 ・本市及び市民にとってよりメリットのある活動ができるよう、庁内の他の政策部門と連携を強め、他都市の優れた事例を政策や事業に反映できるよう、議論を深める場を検討する。 							

平成23年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		4-2-1			事業名	世界冬の都市市長会関連事業				
事業費の推移										
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計				
計画	事業費	15,500	6,000	15,500	6,000	43,000				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
	一般財源	15,500	6,000	15,500	6,000	43,000				
予算	事業費	15,500	6,000	13,000	5,000	39,500				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
	一般財源	15,500	6,000	13,000	5,000	39,500				
実績	事業費	16,449	4,901	8,479	3,096	32,925				
	財源内訳									
	国・道支出金	0	0	0	0	0				
	市の債	0	0	0	0	0				
	その他の	0	0	0	0	0				
	一般財源	16,449	4,901	8,479	3,096	32,925				
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22実績) / (計画事業費)					76.6%			
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)										
《全体》										
[19年度]										
[20年度] 旅費を想定より安く抑えられたこと、内部努力により翻訳の外注が少なくすんだことによる。										
[21年度] 予算を立てる段階で、当初計画よりも支出を抑えるよう設定した。 予算と実績の差異については、市長会議開催市(マールドゥ市)の意向により、「冬の見本市」及び「冬の都市フォーラム」が開催されず、札幌国際プラザへの負担金が不用になったほか、旅費を想定より安く抑えられたこと、内部努力により翻訳の外注が少なくすんだことによる。										
[22年度] 22年度は20年度と同様に、実務者会議のみが開催された年であった。22年度予算編成にあたり、20年度の実績額を考慮した予算額とした。 22年度実績額は、旅費を想定より安く抑えられたこと、内部努力により翻訳の外注が少なくすんだことにより、予算額より低くなった。										